



子育てに、決して「失敗」の二文字はありません！

園長 間嶋 哲

先日、新潟県国公立幼稚園・子ども園PTA連絡協議会・新潟・佐渡・秋葉ブロックが共催する家庭教育講演会がありました。当園からも多くの保護者の皆さんに参加していただきました。当園PTA会長である金安様も、事務局として大変落ち着いた司会・進行をされていました。

講師の木村いほ子様（新潟県女性財団専門員）の講演、『子どもの伸ばし方、もっているものを引き出し伸ばす方法』は、私自身も引き込まれました。当日参加されていない方に共有するために、その時の私のメモを載せます。

◎子どもの力を、外へ引き出す二つの考え方

- ①empowerment 元々、子どもは能力をもっている。それをいかに引き出すかが重要。
- ②resiliency 内なる回復力、弾力性。弾むボールになるように育てることが重要。

◎子どもへの関わり方

- <5つのオススメ>
- ①生活習慣と傾聴によって、安心を確保する。
 - ②「失敗しても大丈夫」という雰囲気づくりをする。
 - ③チャレンジできる場を提供する。
 - ④言葉がけによって承認していく。
 - ⑤待つ姿勢をもつ



- <2つの非オススメ>
- ①決めつけをしない。例；「男の子だから…」という無意識の偏見
 - ②他と比較しない。「今のあなたじゃ駄目」のメッセージになる。

講演後、質問された方がいました。その方は、「私は子育てに失敗した。どうすればよいのだろうか」という訴えでした。講師の方は、「子育てに失敗などない。失敗したと思っていること自体が、今のあなたじゃ駄目のメッセージになっています」と、おっしゃっていました。同感です。

日曜日の夜、松山ケンイチさんや武田鉄矢さんが出演した『こもりびと』というドラマがNHKであり視聴しました。ずっと引きこもりでいる息子と、余命わずかな父親の役でした。その前日、武田さんは、この番組に関わって一番感じたこととして「子どもは親の前では成長しない」ということを語っておられました。真理を突く言葉でした。親から離れる、あるいは時にはあえて離すことによって、子どもには自分で考え行動する習慣が、自然と生まれていくからです。

来年度8月7日・8日には、新潟東映ホテルにて『第59回国公立幼稚園・こども園PTA全国大会』が開催されます。タレントの横澤夏子さんのお母様の講演も予定されています。子育てについて学習できる機会は、他にも様々あります。ぜひ活用していただき、今できる精一杯の子育てをしていただきたいものです。

